

ぐんまこどもの国児童会館

ニコっと通信

nicotto tsu-sin!

本年も
みなさまのご来館を
心よりお待ちしております



ニコっとちゃん

2018.1.15
第60号

発行／公益財団法人群馬県児童健全育成事業団



～第10回ぐんまこどもの国にフォーミュラカー
&小書草史がやってくる!!～ より

こども観劇会 オペラ「ヘンゼルとグレーテル」

開催日 3月17日(土)

開演 14:00～(約60分)

開場 13:30～

場所 多目的ホール

観覧方法 当日受付

対象 一般

観覧料 無料

親子で楽しめるクラシック名曲
コンサート、オペラ「ヘンゼルと
グレーテル」を開催します。小さい
お子さんは劇中の音楽に合わせて
一緒に歌ったり踊ったりできる参
加型の劇で、手遊びなども行いま
す。本格的なピアノの生演奏やオ
ペラの美しい歌声など、家族みん
なで楽しめるステージです。



* 他公演での様子です。



児童健全育成
講演会

おやのちから

親野 智可等 氏講演 「親が楽になれば、子どもが幸せになる」

日時 2月17日(土) 14:00～16:00 (受付13:30～)

会場 2階多目的ホール

対象 一般(小学生以上) ※未就学児の入場不可

定員 300名(先着順) 託児15名(未就学児対象)

講師 親野 智可等 (おやのちから) 氏 (教育評論家)

メールマガジンは教育・研究部門で5年連続第1位(メルマガ大賞)に輝く

申込方法 1月23日(火)～電話、FAXまたは来館の上、お申し込みください。

共催 群馬県児童館連絡協議会

後援 群馬県民生委員児童委員協議会 ぐんま地域活動連絡協議会



スペースシアター休止のご案内

バリアフリー改修工事に伴い、1月11日(木)から3月下旬までスペースシアター(プラネタリウム)をお休みいたします。
ご不便をお掛け致しますが宜しくお願いします。

休館日
1月9日(火)・10日(水)・15日(月)・22日(月)・29日(月)
2月5日(月)・13日(火)・19日(月)・20日(火)・26日(月)
3月5日(月)・12日(月)・19日(月)・26日(月)
★1月8日(月)・2月12日(月)は、月曜開館日となります。



ぐんまこどもの国児童会館

〒373-0054 群馬県太田市長手町480
TEL. 0276(25)0055 FAX. 0276(25)0059
URL <https://www.kodomonokunijidoukaikan.jimdo.com/>
Twitter <https://twitter.com/nicottochan5>
(ID:@nicottochan5)

子育てママの いきいき タイム

「アンガーマネジメント」

11月29日(水)に子育てママのいきいきタイム「アンガーマネジメント～子育てイライラ解消のために～」を開催しました。

みなさん、アンガーマネジメントという言葉を知っていますか？アンガーマネジメントとは、怒りとうまく付き合うための方法です。人間誰しも日々の生活の中で、イライラしたり、怒ってしまうことがありますよね。そして怒った後に「あんなこと言わなければよかった・・・。」と後悔すること多いのではないのでしょうか。子育てに奮闘しているお母さん方は特に感じていることだと思います。そこで今回、介護人材

コンサルティング Futaba 代表の 富永敦子先生を迎え、お話しをお聞きしました。子育て真っ最中のお母さん等30名の参加があり、グループ討議を交



え熱心にお話しを聞かれていました。

怒るという言葉はマイナスのイメージであり、なるべく怒らないように、また、怒ってはいけないものだと思いますが、怒ってもいいのだそうです。ただ、自分の怒りを理解し、怒るべきところは怒る、怒らなくていいところは怒らないといった正しく使う方法を身につけると、怒ったとしても後悔することなく、自分の感情とうまくつきあえるようになるそうです。それには、自分の怒りを知ることが必要であり、グループ討議では、同じ出来事について自分の怒りの温度は10点中どれくらいかとい



うことを話し合いました。そうすると、同じ出来事なのに人それぞれ感じ方は違い、その時の自分の状態によっても違うということがわかりました。では、なぜ怒るのか・・・。人は、自分の理想と違う現実が起こった時に怒りの感情が表れ、そのギャップが大きければ大きいほど怒りが大きくなるそうです。その理想に大きな影響を与えるのが価値観であり、代表されるのが「〇〇するべき」。価値観はその人が大切にしてきたものですが、自分を苦しめるべきがあったとしたら、自分が楽になるために自分のべきを見直し、少しずつ考え方や発する言葉を変えてみるといいとのことのお話でした。怒りのピークは長くて6秒だそうです。イラッとした時は心の中で数を数えることで、イライラを回避することができ、6数えることが無理であれば3数えるだけでも違うそうです。また、自分の気持ちをうまく伝える時には、「I (アイ) メッセージ」を活用するといいそうです。Iメッセージとは、話す時の主語を私にすることで、例えば「どうして〇〇してくれなかったの?」というのではなく、「私は、〇〇してほしかった」と伝えます。そうすると、怒っている本人は怒りにまかせて話をするのではなく本当の気持ちを伝えることができ、注意された人は、「怒られた」という気持ちではなく、「相手はそういう気持ちだったんだ」と気づくことができます。伝え方ひとつで、人間関係は変わってくるのですね。

怒り感情を無駄遣いしていると、一番傷つけない身近な大切な人や、立場の弱い人を傷つけてしまいます。すぐに実践できるお話もありました。ぜひ、日々の生活の中で取り入れてみてはいかがでしょうか。



冬の星空紹介

冬は空気がとてもすんでいて、一年の中でも一番、星がきれいに見える季節です。

明るい星が多いので、街のあかりの中でもよく見ることができます。星座の王者オリオン座をはじめ、もっとも明るく見える恒星シリウスなどが空をにぎわします。「寒いから外には出たくないなあ」と思わずに、あたたかい服装で、星空をみあげてみてはいかがでしょう。きっとその間は寒さを忘れるはずですよ。



【出典】スタディスタイル★自然学習館 <http://www.study-style.com/>

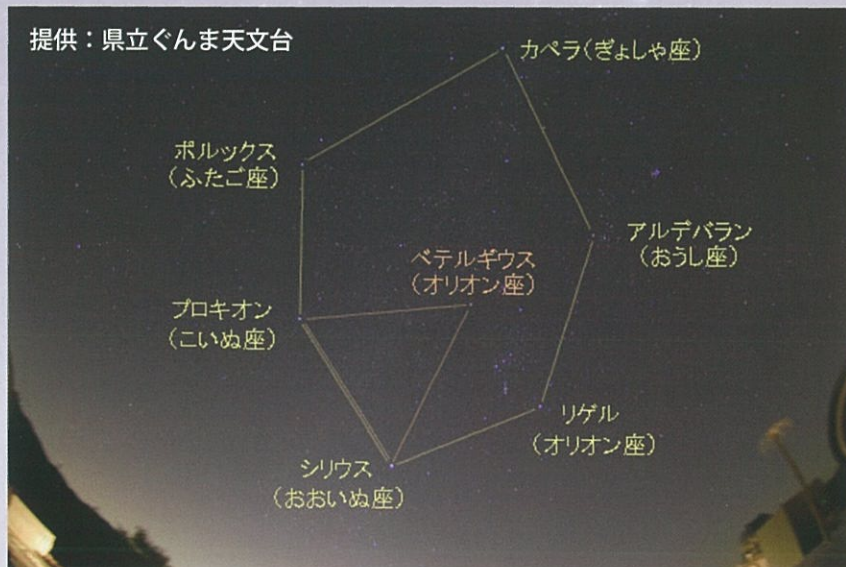
★冬の三大角と冬の六六角★

冬の三大角

冬の南の空にかがやく「オリオン座」の赤い1等星ベテルギウス、その左下の星空の中

でいちばん明るい「おいぬ座」のシリウス、そして、ベテルギウスの左にある「こいぬ座」の1等星プロキオン、この3つの星が作る三角形のこと。

提供：県立ぐんま天文台



冬の六六角

「オリオン座」の赤い1等星ベテルギウスを中心にして、「おいぬ座」のシリウス、「こいぬ座」のプロキオン、「ふたご座」のポルックス、「ぎょしゃ座」のカペラ、「おうし座」のアルデbaran、「オリオン座」のリゲルがつくる6つの星をつないでできる六角形のこと。

移動プラネタリウム「にこっとドーム」のご案内

プラネタリウム休止期間中の1月16日(火)から3月下旬までの平日は、多目的ホールにおいて移動プラネタリウム「にこっとドーム」で冬の星座解説を行います。

時間は14時30分と15時30分、定員は各回20名です。観覧は無料ですので、お気軽にご参加ください。

第26回

ぐんま
こどもの

夢大賞

入選
作品

「ぐんまこどもの夢大賞」は、児童文化の振興を図る目的で、群馬県と当児童会館の運営主体である公益財団法人群馬県児童健全育成事業団の共催で毎年行っています。18歳未満を対象とした絵画と、小学生以上18歳未満を対象とした童話の2部門を夏休みに合わせて募集を行い、今年も絵画6,752点、童話474点というたいへん多くの作品を皆様からいただきました。

審査の結果、絵画は最優秀賞3点、金賞15点、銀賞23点、銅賞35点、奨励賞77点が、童話は最優秀賞1点、金賞4点、銀賞6点、銅賞8点、奨励賞7点が入賞しました。

ここでは、最優秀賞を受賞したみなさんの作品とインタビューを紹介します。



★インタビュー内容★

- ①受賞を知ったときの気持ち ②制作時間 ③どうしてこの作品をかこうと思ったか
④次は何をかきたい? ⑤将来の夢 ⑥保護者のことば

絵画

最優秀賞



笠懸幼稚園(5歳)

えはら みづき
江原 瑞月 さん

「おはなやさん
になりたい」



- ①楽しかった。うれしかった。
②2日間でできあがった。
③お花屋さんになった自分の絵を描いた
(自分で描きたいと思った)
④カメラマン、ケーキ屋さん

- ⑤ケーキ屋さんになりたい。お花屋さんにもなりたい。
⑥自分らしく、のびのびとした絵を描きました。
自分の好きなことを体験し、ものづくりや、
絵を描くことをとおして成長してほしい。

最優秀賞



高崎市立西小学校(3年)

むとう り さ こ

武藤 理彩子 さん

- ① 3回目の応募で受賞できて、すごくうれしかった。
- ② 4日ぐらいかかった。
- ③ 星はキラキラしていて、とても素敵。
いつも星のイメージをしていて、学校の工作でも星の絵を描くことが多い。
- ④ 動物の絵を描きたい。
- ⑤ ケーキ屋さんになりたい。

「空の上の星の国」



- ⑥ 3回応募していて、受賞は難しいかなと思っていたけど、最優秀賞を獲ることが出来て、とても嬉しい。(母談)
何かしら賞は貰えるだろうと思ってはいたが、最優秀賞が貰えるとは意外だった。(父談)
小さい時から絵を描くのが好きで、普段から絵を描くことが多い。

最優秀賞



伊勢崎市立第一中学校(3年)

こんどう ま ゆ

近藤 真由 さん

- ① 正直、あの絵で最優秀賞を頂いていいのかわからなくなったりしましたがとても嬉しいです。
- ② 約一ヶ月くらいです。
- ③ 自分の世界観を絵にしてみたかったからです。
- ④ やっぱり、自分の世界観を大事にして、空想の世界など描いてみたいです。

「時の流れ」



- ⑤ 声優
- ⑥ 賞を頂いた事で、本人の自信につながると思います。
又、次のステップで賞を頂ける様に頑張りたいです。

童話

最優秀賞



渋川市立橘小学校(2年)

すずき
鈴木

すみれ
蓮さん

「ベルガとモットの森のプレゼント」

- ①うれしい気持ち。家に帰ってママに報告したら、とっても喜んでくれて、もっとうれしくなった。
- ②2週間
- ③家のお花がきれいで、その景色が気に入っていたことや、妹と一緒に家族へ手作りのプレゼントをしていること、ママからフランスのお菓子ガレット・デ・ロアの話聞いて、自分はひまわりの種を入れようと思った。
- ④今は羊のドレスを着たお姫様の話を書いている。
- ⑤お医者さん
- ⑥いつも本をたくさん読んでいます。特に食べ物のお話が好き。書いた内容は、自分の経験(お花つみ、牧場の牛乳、お菓子づくりなど)や自分の事をもとにお話にしていた。このまま本を読んだり、お話を書いてもらいたい。
祖母の絵と蓮のお話で絵本を作る事が近い将来の夢。

「ベルガとモットの森のプレゼント」

渋川市立橘小学校 2年 鈴木 蓮

ある春の花のかおりいっぱい広がる森に、小さな二ひきのモルモットのきょうだい、そのかぞくがすんでいました。なかよしきょうだいのベルガとモットは、まだ春だというのに、夏にやってくる大すきなおかあさんのたん生日プレゼントについて話し合っていました。「おかあさんへのプレゼントなににする。ひまわりのたねをたくさんプレゼントするのはどうかな。」「いつもぼくらがたべているものではよろこばないかもよ。」モットは、こまったかおでこたえました。

そうです。ベルガとモットのいえには、花やのミントおじさんから、まい年おくられてくる、しょくりょうのひまわりのたねや、にわでたのしむ花のたねぐらいしかありません。「それじゃあ、ひまわりのたねをかためた手づくりケーキでおいおいするっていうのはどうかな。」「いいアイデアだね、ベルガ。でも、一どでいいからあまくてフワフワのケーキをおかあさんにたべさせてあげたいなあ。」「そうだ。森のなか間たちにたのんで、ケーキづくりのざいりょうとぼくらのひまわりのたねをこうかんしてもらって、森のケーキをつくらうよ、モット。」「いい考えだね、ベルガ。すぐに森にでかけよう。」ベルガの青いリュックとモットの赤いリュックに、おべんとうのひまわりのたねと、きれいな花のたねをつめて森にでかけました。

細長い林のみちをすすんでいくと、ベルガとモットのす

む森の花のかおりとはちがう、あまいかおりがしてきました。そこには、一めんのなの花ばたけが広がっていたのです。なの花ばたけのまん中には一本の大きな木が立っていて、おしりのおもそうなくまさんがせのびをしてはちのすをとろうとしていました。「このたねをあげるから、そのかわりにその大きなびんに入っているものを、ぼくらに分けてくれない。」ベルガはくまさんにひまわりのたねをさししました。しかし、くまさんは「ぼくはきみたちみたいにたねをたべないんだよ。」とことわりました。「このたねを土にまけば、はちみつのようにきれいな色で、くまさんのように大きな花がさくよ。」あたまをきかせてモットが言うと、くまさんは大きくうなずき、さっきとったばかりのはちのすを手にとってスプーンですくってはちみつをびんいっぱいにつめ、モットの赤いリュックに入れてくれました。二ひきは、くまさんにおれいを言うと、なの花ばたけをこえて山をのぼって行きました。

おなかの空いた二ひきは、ひまわりのたねの入ったふくろをリュックからとり出し、たべながら歩きつづけました。山のちょう上の近くまでくると、そこにはやさいばたけが広がっていました。「コッコッコ」と言うこえに二ひきが近づいてみると、三つのにわとりさんたちがとうもろこしとえだまめのたねをまいていました。「このたねをまけば、にわとりさんたちのあたまのような

すてきな花がさくよ。このたねとケーキ作りにつかえそうなやさいをこうかんしてくれない。」ベルガがケイトウのたねをさし出すと、一ばんおおきなにわとりさんがキャベツをみつめながら言いました。「キャベツよりはこっちのほうがおいしいケーキになるかもしれないわよ。」と、ベルガの青いリュックにそっと三つのたまごを入れてくれました。二ひきは、にわとりさんたちにおれいを言うと、山を下って行きました。

山を下ってすこし行くと、広いぼく場が見えてきました。そこにはたくさんの牛さんがすんでいました。小やのほうで「モー」というこえが聞こえたのでベルガとモットは小やの大きなとをなんとか二ひきであけて入って行きました。そこには、ちちしぼりのさい中の大きなめ牛さんがいました。しぼりたてのおちちはまるでまっ白なマーガレットの花のようでした。二ひきは、今どはマーガレットのたねを小さな手で、りょう手いっぱいにぎりしめ、こえを合わせて言いました。「このたねをあげるから、その白いおちちとこんかんして。きつとめ牛さんのぼく場が白くてあかるくなるから。」め牛さんは、「あなたたちは牛のおちちなんでのまないでしょ。」と、ふきげんそうにこたえました。しかし「おかあさんのためにケーキを作るの。」とベルガが言うと、「ケーキねえ、わたしもたべてみたいわ。おかあさんきつとよろこぶわね。」とめ牛さんは、しぼりたてのおちちをびんに入れベルガの青いリュックに入れてくれました。二ひきはめ牛さんにおれいを言って、山をさらに下がって行きました。

くいしんぼうのベルガは、いつだってひまわりのたねをたべこぼしながらモットと歩いています。「森のみんながぼくらのいえにくるためのしるしさ。」とのんきなベルガ。二ひきが、たに間にやってくると、川がながれていました。川をたどって行くと、おかの上に水車小やがありました。その大きな水車小やには、ベルガとモットのいえのとびらよりも、もっと小さなとびらがついていました。とびらをひき、二ひきはせを小さくして水車小やの中に入りました。そこには、二十ぴきのねずみさんたちがいて、こなひきのしごとをしていました。ベルガとモットは、さい後にのこったベルガモットのたねをさし出しました。「いいかおりのする花のたねなんだ。そのこなをすこしでいいから、これとこうかんしてくれないかな。」「いいかおりのお花は大すきだよ。」ねずみさんたちは、たねをうけとると、こなを小さなふくろに二つつめて、ベルガとモットにわたしました。二ひきはおれいを言って小やを出しました。

ケーキのざいりょうがそろったので、二ひきはリュックの中にこなふくろを入れてかえろうとしましたが、リュックはもうパンパンで入りません。二ひきはふくろずつ、うでにかかえてもちかえりました。

ようやくベルガとモットのいえにつくと、森は夏になっていました。今日はおかあさんのたん生日です。二ひきはすぐにケーキ作りにとりかかりました。牛さんからもらったおちちは、長い間リュックでゆられてバターにかわっていました。ベルガはバターをあわだてはじめました。くまさんのはちみつをくわえればフワフワのバタークリームのかんせいです。モットは、にわとりさんのたまごをカーバイあわ立てます。スポンジケーキはモットーぴきでは大へ

んです。ベルガも手をかしてくれました。ベルガはねずみさんたちのこなを上からふるってくれるので、モットはその下で木べらで一生けんめいまぜていきました。くいしんぼうのベルガは、ひまわりのたねをたべながらこなをふるっています。気がつくとケーキの生じにたくさんのひまわりのたねがまぜこまれています。それを見てなき出しそうなベルガのかたに小さな手をのせてモットは言いました。「大じょうぶ。これで大せいこうさ。」オープンでやくと、あまいはちみつのいいかおり。そこにフワフワのバタークリームをぬって、はちみつケーキががかんせいしました。

「そうだ。ざいりょうを分けてくれた森のみんなをよぼうか、ベルガ。」「ぼくも同じことを考えてたんだ、モット。ぼくたちのいえまでは、ひまわりのたねでしるしがついていいるしね。」「でも、これからじゃあしょうたいじょうをくばる時間がないよ。こまった二ひきのところに一わのきじばとさんがとんできました。」「デーデーポッポー。今までおいしいひまわりのたねをこぼしてくれてありがとう。じつはぼく、ずっときみたちのたべこぼしをたべながら、ここまできちゃったんだ。おれいに、ぼくになにかできることがあれば、てつだうよ。」ベルガとモットはいそいでしょうたいじょうを書き、きじばとさんにわたしました。「今日の夕がた、おかあさんのたん生日会をするのできてください。ベルガとモットより。」きじばとさんはしょうたいじょうを入れたふくろを首にかけてとんで行きました。

おかあさんと森のみんながくる夕がたまで、おへやのかざりつけです。二ひきは、おり紙でわっかのかざりをつくり、テーブルにクロスをしきました。「まだなにか足りないな。」おさらをならべながらモットがつぶやきました。「かざるお花がない。」二ひきはこえをあわせて言いました。そうです。春いえにたくさんあった花のたねは、ひまわりのたねがいはいみんなにあげてしまい二ひきはこの日にかざるお花をそだてていなかったのです。

こまって、かおを見合わせるベルガとモット。その時、だれかがベルをならしました。「リリーン」さいしょにやってきたのはおかあさんでした。「おかあさん、おたん生日おめでとう。でもね、お花が足りないの。」なきながらだきつく、ベルガとモットのあたまをやさしくなでながらこう言いました。「ありがとう。おかあさんのためにじゅんびしてくれたのね。おかあさん、すごうれしいわ。」

その時またベルがなりました。「リリーンリリーン」つぎにやってきたのは、たくさんの花たばをもった森のみんなでした。くまさんは大きなひまわりのブーケ、にわとりさんたちは、にわとりさんのたちのとさかのような赤いケイトウのブーケ、牛さんはおちちのようにまっ白なマーガレットのブーケ、ねずみさんたちはいいかおりのベルガモットのブーケをおかあさんにプレゼントしてくれました。「みんなが分けてくれたしあわせでできたケーキだよ。この中にかくれているひまわりのたね入りのケーキをあてれば、しあわせになれるよ。」モットがケーキを切り分けました。ケーキをたべてみんなはびっくり。みんなのケーキにたねは一こずつ入っています。「みんなしあわせになれるね。」ベルガもにっこり。森のケーキで、みんなしあわせあふれる森のパーティーとなりました。

10回を迎えた小暮さんへのインタビュー

太田市出身のレーシングドライバー小暮卓史選手が毎年地元の子供達のためにぐんまこどもの国児童会館で開催しているイベントが今年で10回目を迎えました。地元の子供達への熱いメッセージをお伝えします。



レーシングドライバー
小暮 卓史さん

Q 毎年お忙しいスケジュールをぬって10年間続けて頂きましたが、10回目を迎えてのお気持ちは？

A 感慨深いです。10回を迎えることは簡単ではないと思いますので、ひとえに多くの協力者のおかげだと心から感謝しております。10年続けられたことに誇りをもちたいと思います。

Q どんな思いではじめられましたか。

A きっかけはモータースポーツを地元の皆様により理解してもらいたい、そして知ってもらいたいという思いで始めました。

Q 次代を担う子供たちへのメッセージをお願いします。

A このイベントを通じて、モータースポーツへの興味を持ち、将来の選択肢になにかしらの影響を与えることができれば嬉しいです。また、モータースポーツにはたくさんの魅力があるのでサーキットに足を運んでください。

Q 小暮さん自身、これからの夢や目標としていることは何ですか？

A レーサーとして、常にベストを尽くし、戦い続けていくこととモータースポーツを広めることです。

いつも笑顔でとてもやさしく、温かな小暮選手ですが、レースやレーシングカーのお話の時は力強く、笑顔の中にもキラっとした選手としての瞳が輝いていました。ぜひ、サーキットでの小暮選手の力強い走りこれから応援していきたいですね。



ぐんま地域活動連絡協議会連携事業「親子のつどい」を開催しました

10月28日(土)、太田市藪塚本町社会体育館において「親子のつどい」を開催しました。「親子のつどい」はぐんま地域活動連絡協議会主催の催しで、今年で34回を迎えました。今年度から当館も共催で実施することとなり、子どもから大人までみんなが楽しめる催しにしようと、企画から実施まで、役員の皆さんと一緒に準備を行ってきました。



当日は、県内の母親クラブ会員の親子300人が集まり、デカパン競争やパンくい競争など手作りの競技を楽しみ、大いに盛り上がりしました。途中、ぐんまちゃんもかけつけてくれ、みんなと一緒に体操をしました。体を動かす競技が多く、大人はちょっと疲れた・・・なんて思っても、子ども達は元気いっぱい。最後にぞうきんがけリレーで盛り上がり終了。怪我もなく、みんなが楽しめたイベントとなりました。



プレイルームの紹介

小学生未満のお子様がおうちの方と一緒に、ゆっくりと遊ぶお部屋です。大型遊具などで身体を使って遊ぶコーナー、おままごとコーナー、小さいお子様がゆったりと遊ぶ乳児コーナー、その他ブロックなど様々なスペースを用意しています。定期的に遊具の入れ替えを行っており、色々な遊具で遊べます。

また、プレイルーム内には幼児用トイレ、オムツ替えの台、ベビーベッドやお昼寝用の布団・掛け布団もありますので、ご利用ください。

お子様とゆったり、のんびりと触れ合う時間を過ごしてみたいかがでしょうか。



群馬県児童館連絡協議会より

～群馬県内児童館フェスティバルのご報告～

10月15日(日)、県内52の児童館・児童センターがぐんまこどもの国に大集合しました。当日はあいにくの天候となりましたが、館内はどこもかしこもたくさんの人で、そしてたくさんの笑顔が！「わくわくドキドキ楽しいあそび大集合！」のテーマ通り、様々なあそびが館内を華やかに彩りました。

来年は平成30年10月14日(日)、前橋市児童文化センターを会場に開催予定です。みんなで前橋へ遊びにきてくださいね!!



～JA共済連群馬さまより寄付金をいただきました～

昨年に続き、JA共済連群馬さまより地域貢献活動の一環として群馬県児童館連絡協議会の会員66館へ図書購入費用(各5万円)の寄付金をいただきました。

児童館が次代を担う子どもたちにとって、健やかに安心して過ごせる場となるよう、今後も役割を果たしていきたいと思えます。温かいご支援、本当にありがとうございました。